

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-50 小児医療助成事業 □支 援 部 門									
主管課	保険年金課			関連課		こども相談課				
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	小児の保健の向上と福祉の増進									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	14,018人	14,459人	14,442人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	457,581	431,247	442,283						
	(国・県)	67,204	64,531	67,636						
	(負担金等)	15,361	8,919	16,957						
	(一般財源)	375,016	357,797	357,690						
	人員配置数	1.3	1.3	1.3						
	人件費(千円)	10,649	11,572	11,564						
	協働の パートナー	無	無	無						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	468,230	442,819	453,847						
	市民1人当 りの経費(円)	2,642	2,499	2,562						
	対象者1人 当りの経費(円)	33,402	30,626	31,425						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市				
	所得制限無関係年齢	就学前	小6	3歳	就学前	0歳				
	通院対象年齢	小6	小6	小2	小6	小2				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
小児医療助成事業	457,581千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	小児医療費の自己負担分を助成する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	神奈川県が平成20年度に一部負担金を導入した。鎌倉市は、現時点では導入の予定は無いが、県内各市の状況を把握しながら対応を検討する必要がある。		
課題解決のための取組	神奈川県医療費助成改正への対応について、神奈川県や他市町村と協議をし、事務を行った。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	レセプト点検等による医療費の適正化		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性						
中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		↓	課長等名
		③有効性	○			
		④公平性	○			
		①レセプト点検等の医療費の適正化 ②神奈川県医療費助成改正に伴う近隣市町村の対応状況を把握しながら、市としての対応を検討していく。			A 課長(代理) 保険年金課長 持田 浩史	

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
小児医療助成事業	主な個別事業	65 785 臨時的任用職員賃金	749	553	○	○	○	○
		65 785 医療助成事務用消耗品費	108	103	○	○	○	○
		65 785 医療証印刷製本費	28	0	○	○	○	○
		65 785 診療報酬明細書印刷製本費	143	0	○	○	○	○
		65 785 審査支払等手数料	12,777	11,583	○	○	○	○
		65 785 医療費扶助	473,855	445,342	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							